常盤の翠

志・寛・錬

発 行
令和4年5月12日
鹿児島市立伊敷中学校

心のこもった挨拶は 心穏やかな社会への種まき

校長　河瀬　雅之

五月の連休が終わりました。充実した家庭生活が送れたでしょうか。一年生にとっては、学校生活の劇的な変化を乗りこえほっと一息つく時間になったのではないかと思います。

今年の連休は、三年ぶりに国を挙げての行動制限が行われないまま連休となりました。多くの人のいつもの連休の流れが戻ってきた一方、行動のものは、それぞれが新型コロナウイルスの感染拡大防止に気をつけながら、新生活スタイルを意識した連休だったのではないでしょうか。町で過ごすよりも郊外で過ごすよりも外で食事をする人や、外で密を避けながら過ごす人や弁当開きをする人の姿を多く目にした様な気がします。

「伊敷中学校の生徒さんと道端ですれ違った際、『こんにちは』と挨拶されました。素晴らしい生徒さんたちだと思いながらも、自分からはとっさに挨拶を返すことができませんでした。すると生徒さんの一人が、すれ違いざまに、『無視されたね。』といっているのが聞こえてきました。なんとも複雑な気持ちになりました。」というのです。

中学生にとっては、「勇気を出して挨拶したのに、相手からは挨拶が返ってこなかった。」「残念な気持ちになった。」そんなところだろうと思います。しかしそこには、「無視された」と言われた人がどんな気持ちになるであろうという発想はありません。

私は、この生徒たちをとがめているのではありません。**挨拶は見返りを求めるものではなく、人を幸せな心に導く行為であり、自らの心を満たす行為でもある**ということです。たとえその時挨拶が返ってこなくても、次の機会にはこちらから挨拶をしてみようというような気持ちになってくれればと思います。

今一度、自身の挨拶について振り返ってみましょう。形だけでなく気持ちのこもった挨拶ができていますか？相手の目を見て挨拶できていますか？その時のあなたは笑顔になっていますか？

あってもそれが積み上げられれば、世の中は穏やかな、平和な方向へときっと動き出します。そんな小さな行為でいくかもしれません。

心のこもった挨拶、挨拶は豊かな人間関係の架け橋、心穏やかな社会への種まきなのです。

新緑の萌える五月は、山登りにとってもベストシーズンです。山の草花の息吹を感じながら自然を堪能するのが登山の醍醐味ですが、**すれ違う人々と交わす挨拶も山登りの喜びの一つ**です。

登りはじめの頃は、下ってくる人の挨拶につられ少し遠慮がちに挨拶していた自分が、いつの間にか自ら挨拶をかける側になっていたりも。相手から挨拶のこだまが帰ってくるようになると、それだけで穏やかな気持ちに満たされます。**見知らぬ人と交わす挨拶には、心の浄化作用**があるような気がします。

一方、日常生活の中ではどうでしょう。「学校内など見知った仲間の間では挨拶できても、外での挨拶は良くない。」以前から指摘される、本校生徒の挨拶の実態です。

先日外部の方から次のようなお電話をいただきました。

待ちに待った一日遠足

連日の雨予報でしたが、みんなの願いが通じたのか、遠足当日の四月二十二日は晴天に恵まれました。

コロナ対策として、様々な制限はありましたが、伊敷中生らしい静と動のけじめのある過ごし方ができ、充実した一日となりました。

一年生は平川動物公園とマリンポートに行きました。日頃見られない動物の様子を観察したり、桜島をバックに友達とお弁当を食べたりと、楽しい時間を過ごしました。遠足を通して、集団行動や協力することの大切さを学ぶことができました。

二年生は、知覧特攻平和会館に行きました。修学旅行につながる学習であり、展示物を真剣な表情で見ながら、戦争についてそれぞれの考えを深めていました。また、語り部さんの話を聴くことで、平和に対する意識が一層高まりました。

三年生は丸岡公園に行きました。中学校生活最後の遠足です。友達と一緒にゴーカートに乗ったりソフトクリームを食べたりして楽しい時間を過ごしていました。昼食後に行われた学級対抗長縄跳びでは、白熱した戦いとなりました。中学校最後の遠足で、素敵な思い出ができました。

1年生　平川動物公園

2年生　知覧特攻平和会館

3年生　丸岡公園

交通安全教室

四月十三日、全校生徒を対象に交通安全教室を行いました。

当日は、マジオドライバーズスクールの方を講師に招き、交通ルールの確認や危険予知の方法について分かりやすく説明していただきました。登下校は特に交通事故の危険性が高まりますので、事故にあわないためにも、日頃から自分で危険を予知し、自分の身は自分で守る意識を高めましょう。

グリーンタイム

伊敷中学校では、毎週木曜日に「グリーンタイム」という時間があります。一人一人が自分の鉢の手入れをすることで、環境について深く学び、生命尊重の精神を養います。四月二十八日に鉢植えをしました。各学年で種類の違う花を植えました。しっかり手入れをし、素敵な花を咲かせてくださいね。

みんなで創る伊敷中学校!

「伊敷中学校とはどんな学校ですか？」という質問があれば、その答えの一つとして挙がるのは、「生徒会活動が活発な学校」という答えです。生徒一人一人に役があり、その役割を日頃から熱心に果たそうとしている人が多くいるからこそ、伊敷中学校の特色になっています。その活動をさらに深いものにしているのが、月に3回ある大きな会議、**学級専門班会、学年専門部会、学校専門部会**です。

これらの会議を段階的に行うことで、学級から学年、そして学校へと意見や考えはつながっていきます。学校生活をより良いものにするのは、生徒皆さんの力です。日頃から**学校への参画意識**をもつことで、自分たちの学校生活を充実したものにしてください。

第７１回 伊敷中学校研究公開について

今年も感染対策を徹底し、参加者数を制限しながら６月３日（金）に研究公開を実施します。午前と午後に分けた分散開催となります。今年は、附属小中、田上小に続き、しんがりを務めます。

今回は各教科の課題分析に基づいた授業改善と併せ、一人一台となったタブレット端末の活用や授業に生きる家庭学習についても提案する予定です。

本年度の研究公開は2・3年生のみでの授業実施になります。1年生は、自宅学習となります。

お手伝いをいただく保護者ボランティアの皆様、生活指導部の皆様、当日はどうぞよろしくお願いいたします。

〔公開時の主な感染防止策〕

- 公開授業を**午前と午後の二部に分散**して、参観者の密を防ぎます。
- 普通教室より広い**体育館や特別教室（全体会議室も含む）で行います**。
- 特別教室の授業は、**各会場30名の参観者に限定**します。（通常は60名程度）
- 参観者には、来校時の体温チェック、授業前の手指消毒、**二重マスクの着用を徹底**します。
- 授業中は**参観者の会話を一切禁止**とし、**指示に従っていただけない場合は退場**していただきます。
- 公開終了後、学校施設の消毒を徹底します。

※　公開の実施判断については、常に市教育委員会と連携をとっています。今後も感染状況を注視し、変更の際には再度お知らせします。